

### 《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

#### ◆景気判断「緩やかに回復」据え置き、米関税影響で企業収益は下げ

・政府は8月の月例経済報告を公表。国内の景気判断は「緩やかに回復している」に据え置いた。米関税政策の影響を受け、項目別判断のうち企業収益について「改善に足踏み」に引き下げた。自動車関連で収益悪化の影響が大きいと指摘した。4月から新築住宅の省エネルギー基準が厳しくなり、駆け込み着工の反動減が続いていることを反映した。

#### ◆税の滞納、24年度9925億円 企業の資金繰り悪化で21年ぶり水準

・国に納める税の滞納が増えている。2024年度に新たに発生した滞納額は前年度比24%増の9925億円で、21年ぶりの高水準となった。物価高で企業の資金繰りが悪化し、消費税や法人税の納付が滞っている。滞納額は今後さらに増える恐れがある。国税庁が発表した租税滞納状況によると、24年度の新規滞納額は2年連続で増えた。

#### ◆国債費最大の32兆円超、26年度予算要求 総額は初の120兆円台

・財務省は2026年度予算の概算要求で、国債の元利払いにあてる費用を過去最大の32兆3865億円とする。足元の金利上昇をふまえて利払い費が膨らむ。高齢化による社会保障費の伸びも続き、一般会計の要求総額は初の120兆円台になる見通し。政策経費に回す余地は狭まり、予算の硬直化を招く恐れがある。

### 《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

#### ◆建設業、人手不足が最も深刻に 不足感68%超、猛暑で作業効率も悪化

・帝国データバンクが公表した「人手不足に対する企業の動向調査(2025年7月)」によると、業種別では「建設」が68.1%と最も高く、深刻さが際立った。残業規制による労働時間の減少に加え、今年の猛暑による作業効率低下や熱中症対策義務化に伴う作業手順の見直しも、人手不足感をさらに強めていることも明らかになった。

#### ◆設備投資の減価償却費を一括計上、初年度減税大きく 経産省が要望

・経済産業省は企業の国内設備投資を促す税制の創設を2026年度の税制改正要望に盛り込む。5年間の時限措置として投資額の一定割合を法人税から差し引けるようにする。投資した初年度に減価償却費を一括計上できるようにすることも求める。8月末にまとめる税制改正要望に「大胆な投資促進税制」の創設を盛り込む。

#### ◆全国の消費生活相談、住宅関連トラブルが上位に

・国民生活センターがまとめた2024年度の「全国消費生活相談の状況」によると、全国の消費生活センター等に寄せられた相談件数は91万件に上り、前年より約2万件増加。高齢者を中心とするトラブルが依然多い中、住宅関連分野でも相談が目立っている。「賃貸アパート・マンション」に関する相談が4位(3万4838件)となった。

### 《 注目商品 》

#### ■パロマ ビルトインコンロ「ウイズナ」、鍋の仮置き・掃除がしやすく

・スタイリッシュなビルトインコンロ「WITHNA(ウイズナ)」をモデルチェンジして発売。全機種に「ひろびろすっきりトップ」を採用。グリル排気口のサイズを小さくしアイランド構造にすることで見た目をすっきりとさせ、清掃や調理中の鍋の仮置きなどがしやすく。



#### ■観葉植物+LEDを組み合わせたペンダントライト

・オリンピック照明は本物の植物を直接アレンジできる照明器具「GREEN LIGHTING(グリーンライティング)」を発売。観葉植物を吊るす「ハンギンググリーン」から着想した、グリーンとLED照明を組み合わせたペンダントライト。耐荷重(5kg)を考慮した安心設計。



#### ■シャープの新型ドラム洗濯機 生成AIが使い方を説明

・ドラム式洗濯乾燥機の2機種を順次発売すると発表。生成AIを活用し、専用アプリ上で洗濯時の最適なコース選びなどについて助言する仕組みを新たに取り入れた。想定価格は上位機種が39万6000円前後、機能を絞った下位機種と合わせた月産台数は9000台を見込む。

